

有害プランクトン情報

(令和元年度 - No. 6)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 9月 第1回 内湾 (8地点) 9/2,3 内房 (7地点) 9/2,3
- 貝類漁場内 九十九里 9/2,19,25

【有害プランクトンの出現状況】

- 有害プランクトンの最高細胞密度は、シャットネラ属が9/3に勝山沖で0.10 細胞/mL、ヘテロシグマ属が9/2に千葉灯標で0.10 細胞/mL、カレニア属が9/2に盤洲南で0.05 細胞/mLでした。シュードシャットネラ属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、ディノフィシス アキュミナータが9/2に千葉灯標及び、9/25に一部の貝類漁場で0.05 細胞/mLでした。9/25の貝類検体から下痢性貝毒は検出されませんでした。他種はディノフィシス ロツンダータが9/2に富津で0.10 細胞/mLでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 9/2,3 内湾 珪藻 タラシオシラ属 (図1), シュードニッチア属, キートセロス属
- 内房 珪藻 シュードニッチア属 (図2), キートセロス属, レプトキリンドルス属

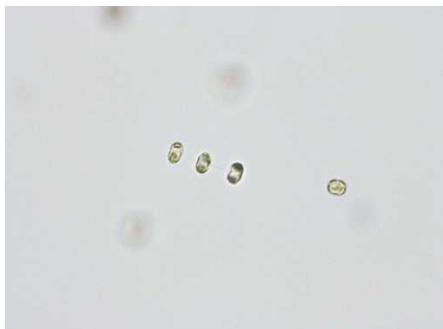


図1 タラシオシラ属
(9/3 羽田沖)

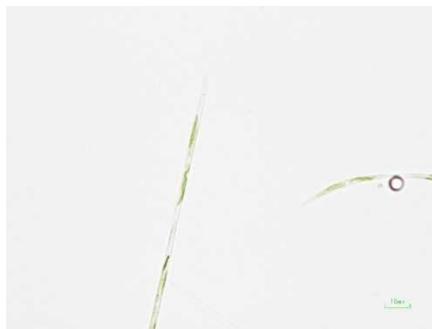
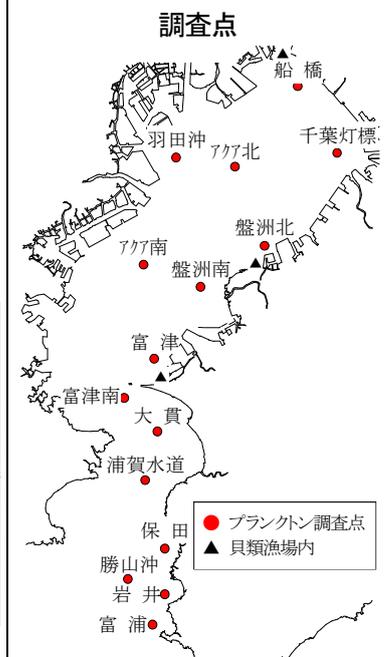


図2 シュードニッチア属
(9/2 富津南)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp